

保育所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

保育所名：小規模保育園さざなみの家

		チェック項目	はい	いいえ
環境・ 体制整備	1	生活空間は、子どもの成長・発達に配慮された環境になっていますか	25	
	2	生活空間は、清潔で、心地よく子どもの活動に合わせた空間となっていますか	25	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参加していますか	25	
	4	保育園向け自己評価表や保護者向け評価表の結果を踏まえ、自己評価を行うとともに、その結果・内容を、ホームページ等で公開していますか	25	
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか	25	
	6	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保していますか	25	
保育の提供	7	丁寧なアセスメントで子どもの発達状況を把握し、指導計画を作成していますか	25	
	8	指導計画に沿った支援が行われていますか	25	
	9	活動内容が総合的な視点から柔軟な形で対応されていますか	25	
	10	子どもの状況に応じ、個別と集団活動を柔軟に組み合わせて指導計画を作成していますか	25	
	11	職員間で情報共有をし、その日行われる保育の内容や役割分担について確認していますか	25	
	12	保育終了後には、職員間で、その日の振り返りを行い、情報共有をしていますか	25	
	13	日々の支援に関して記録をとり、保育の評価・改善につなげていますか	25	

関係機関や保護者との連携	14	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っていますか	25	
	15	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていますか	25	
	16	同法人の保育園、児童発達支援事業所等の関係機関、または職員と連携し、助言や研修を受けていますか	25	
	17	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	25	
	18	保護者に対して保護者向け講座や家族支援プログラム（親と子の心を結ぶプログラムTo Heart等）の支援を行っていますか	25	
保護者への説明責任等	19	入園のしおり、運営規程、重要事項、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	25	
	20	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	25	
	21	保護者参加型の行事、保護者向け講座等の開催により、保護者同士の連携を支援していますか	25	
	22	子どもや保護者からの相談やご意見について、担当窓口が決まっていて、適切に対応していますか	25	
	23	園だよりやホームページ等で、活動や行事内容等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	25	
	24	個人情報の取扱いに十分注意していますか	25	
非常時等の対応	25	保育園の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた園運営を図っていますか	25	
	26	緊急時の各種対応マニュアルを策定し、入所時に保護者へ周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練を実施していますか。	25	
	27	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	25	
	28	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認していますか	25	
	29	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	25	

30	ヒヤリハット事例集を作成して保育園内で共有していますか	25	
31	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	25	

○この「保育所における自己評価結果（公表）」は、保育所全体で行った自己評価です。

工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標等

- ・絵本を読む時、2.3人で一緒に読み聞かせしたい。
- ・子ども達が自分で選んで遊び始められるような環境に変化させていきたい。玩具の片付ける場所など工夫していきたい。
- ・日々、職員間で子どもについて共通理解をしている。
- ・年齢、発達の違いが大きいので、それぞれに配慮できるよう職員間で情報交換をする様にしている。さざなみ会議でも各児の毎月の状況について話し合い、確認もしている。職員が増えてきたので、情報共有をしっかりと保護者も含めての支援をみんなでできるようにしたい。
- ・職員間で声かけをしっかりと行い、情報共有をしっかりとしている。
- ・一年間子ども達が様々な素材に触れながら、造形に取り組めるように、一人ひとりが楽しく遊べるような空間を作り出していきたいように努力していきたい。
- ・調乳室の壁面にアレルギー対応マニュアルが掲示してあり、土曜保育でも安心して準備、片付けができて助かっている。
- ・調理しながら、子ども達の食事の様子を見ながら声かけしたいと思っています。子ども達と給食やおやつを通して関わりながら少しでも保育に参加できればと思っています。
- ・登園時にはできるだけ子ども達に声かけするようにしている。
- ・職員会での議題を早・延長の先生も含めて出してもらえると、より良い話し合いができると思う。
- ・災害や緊急時のマニュアルがあり、避難訓練も様々な状況を想定して行われている。もっと身近な場面で起きたヒヤリハットに対して定期的に見直していきたい。リスクマネジメントについて会議が行われ、意識が改善され、再発防止につながっていると感じる。会議後、それぞれが何に気を付けているのか知る機会があると更に意識が高まるのではないかなと思う。
- ・季節の行事や生き物、植物、野菜などに触れる機会が多く、子どもが喜んでいる姿、経験できることは素敵だと思う。
- ・出勤する時、玄関までの距離に稲やお花やオーナメントなど、その季節のものを見るのが楽しい。
- ・勤務体制がバラバラなので、情報の共有をしっかりとできるように、伝達や引継ぎを全体だけではなく、個々でも行っている。クラス関係なく子どもの様子や出来事を知らせたり、聞いたり確認し合って把握できるようにしている。
- ・感染対策について再確認、見直しをする。園内、家庭内で広がらないようにするにはどうしたらいいか。
- ・感染症対策の見直し。感染力のあるものや季節の流行病が出たら、保護者へお知らせすることによって、拡大せずすむのではと考えられます。
- ・ヒヤリハットの確認、日々の保育の振り返りをこまめにやっていけたらと思う。